

(活力を創る) - [戦略1] ビッグチャンスを生かす～県経済の力強い成長をリードします～

(1)現状と課題		(2)概要				(3)施策体系				(4)県民アンケート結果																														
<p>経済のグローバル化が急速に進む中で、国際競争を勝ち抜くために国内企業の海外移転などが広がっており、県内企業にもその影響が及んでいます。そのため、厳しい環境にある中小企業の経営支援強化、リーディング企業群の形成や企業集積など、積極的な取組みが必要です。</p> <p>九州新幹線の全線開業により、関西などからの観光客が大幅に増加しています。今後も、九州の中央に位置するという地理的優位性を生かしながら、自然や歴史・文化、阿蘇をはじめとする観光資源等を磨き上げ、つなぎ、発信し、いかに誘客につなげられるかが課題となっています。</p>		<p>九州新幹線の全線開業や熊本市の政令指定都市移行という、100年に一度のビッグチャンスを最大限に生かしながら県経済の力強い成長をリードするため、地域を支える中小企業のチャレンジへの支援や、熊本発の新たな産業の展開、企業誘致に積極的に取り組みます。</p> <p>また、県内の観光資源やおもてなしに磨きかけるとともに、九州観光の拠点として熊本を訪れ、九州内を周遊する観光スタイルを確立し、観光客の増大につなげます。</p>				<p><b>施策01</b></p> <p>◆中小企業のチャレンジをサポートする ～中小企業の挑戦への総合的な支援～ 【担当部局: 商工観光労働部・土木部・出納局】</p> <table border="1"> <tr> <th>H</th> <th>事業数</th> <th>決算額</th> <th>H</th> <th>事業数</th> <th>予算額</th> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>8</td> <td>1,353,228千円</td> <td>H26</td> <td>8</td> <td>2,119,603千円</td> </tr> </table>				H	事業数	決算額	H	事業数	予算額	H25	8	1,353,228千円	H26	8	2,119,603千円	<p>【満足度】</p> <table border="1"> <tr> <th>年度</th> <th>満足</th> <th>やや満足</th> <th>やや不満足</th> <th>不満足</th> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>3.1</td> <td>16.5</td> <td>50.8</td> <td>24.6</td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>2.0</td> <td>12.0</td> <td>51.9</td> <td>25.0</td> </tr> </table> <p>【今後の方向性】</p> <p>0.8 (%)</p> <p>29.6</p> <p>69.6</p> <p>(4位)</p>				年度	満足	やや満足	やや不満足	不満足	H26	3.1	16.5	50.8	24.6	H25	2.0	12.0	51.9	25.0
H	事業数	決算額	H	事業数	予算額																																			
H25	8	1,353,228千円	H26	8	2,119,603千円																																			
年度	満足	やや満足	やや不満足	不満足																																				
H26	3.1	16.5	50.8	24.6																																				
H25	2.0	12.0	51.9	25.0																																				
<p>★戦略指標〔単位〕</p>		策定時	H24	H25	H26	目標値																																		
i	リーディング企業育成数〔社〕	1 (H23)	3 <15.0%>	3 <15.0%>		20~30 [社(累計)]																																		
	分析	H25年度に新たにリーディング企業となったリーディング育成企業はなかったが、リーディング育成企業の付加価値額の平均伸び率は、対認定時比約21.8%増と順調に伸びている。																																						
ii	企業立地件数〔件〕	91 (H20~H23)	30 <30.0%>	67 <67.0%>		100 [件/4年(累計)]																																		
	分析	ターゲットを絞った戦略的な企業誘致と既立地企業へのフォローアップの徹底や景気回復の見込みなどから、H25年度の目標を上回った。																																						
ii	企業立地による新規雇用予定者数〔人〕	5,299 (H20~H23)	1,213 <22.1%>	2,015 <36.6%>		5,500 [人/4年(累計)]																																		
	分析	設備投資等による業務効率化などによって、企業立地件数に対し1件あたりの雇用予定者数が少なかったため、H25年度の目標を下回った。																																						
iii	新たな材料(有機薄膜、熊本Mg等)を活用した商品の市場化件数〔件〕	0 (H23)	2 <20.0%>	5 <50.0%>		10 [件:(累計)]																																		
	分析	これまでの研究、事業化に向けた取組みの中で開発されたピレット、押出材、義肢装具について、関連知財等に係るライセンス契約の締結が完了し、正式に販売可能となった。																																						
iv	観光客総数〔万人〕	5,723 (H22)	5,920 <98.7%>	6,119 <102.0%>		6,000 [万人/年:(単年)]																																		
	分析	H24年7月発生の熊本広域大水害で減少していた阿蘇・菊池地域への観光客の帰郷や、熊本城への入場者数の増加、「全国豊かな海づくり大会〜くまもと〜」等の大規模大会・会議の開催などにより増加した。																																						
v	延べ宿泊者数〔万人〕	647 (H22)	663 <88.4%>	684 <91.2%>		750 [万人/年:(単年)]																																		
	分析	《同上》																																						
vi	くまモンツイッターフォロワー数〔万人〕	5 (H23)	19 <126.7%>	33.6 <224.0%>		15 [万人:(累計)]																																		
	分析	くまモンの全国的な人気の高まりと精力的な情報発信により、前年度末から約14万人の増となった。																																						
		①産業力の強化																																						
		②九州の観光拠点化																																						
		施策02																																						
		◆創造的企業誘致を進める ～研究開発部門等を中心とした企業誘致の強化～ 【担当部局: 商工観光労働部】																																						
		<table border="1"> <tr> <th>H</th> <th>事業数</th> <th>決算額</th> <th>H</th> <th>事業数</th> <th>予算額</th> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>2</td> <td>38,326千円</td> <td>H26</td> <td>2</td> <td>43,205千円</td> </tr> </table>				H	事業数	決算額	H	事業数	予算額	H25	2	38,326千円	H26	2	43,205千円	<p>【満足度】</p> <table border="1"> <tr> <th>年度</th> <th>満足</th> <th>やや満足</th> <th>やや不満足</th> <th>不満足</th> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>3.6</td> <td>17.3</td> <td>51.6</td> <td>20.5</td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>3.6</td> <td>15.2</td> <td>52.2</td> <td>21.8</td> </tr> </table> <p>【今後の方向性】</p> <p>1.6 (%)</p> <p>33.3</p> <p>65.1</p> <p>(6位)</p>				年度	満足	やや満足	やや不満足	不満足	H26	3.6	17.3	51.6	20.5	H25	3.6	15.2	52.2	21.8				
H	事業数	決算額	H	事業数	予算額																																			
H25	2	38,326千円	H26	2	43,205千円																																			
年度	満足	やや満足	やや不満足	不満足																																				
H26	3.6	17.3	51.6	20.5																																				
H25	3.6	15.2	52.2	21.8																																				
		施策03																																						
		◆熊本イノベーションを進める ～熊本発の新製品の創出～ 【担当部局: 環境生活部・商工観光労働部】																																						
		<table border="1"> <tr> <th>H</th> <th>事業数</th> <th>決算額</th> <th>H</th> <th>事業数</th> <th>予算額</th> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>15</td> <td>1,199,853千円</td> <td>H26</td> <td>17</td> <td>261,193千円</td> </tr> </table>				H	事業数	決算額	H	事業数	予算額	H25	15	1,199,853千円	H26	17	261,193千円	<p>【満足度】</p> <table border="1"> <tr> <th>年度</th> <th>満足</th> <th>やや満足</th> <th>やや不満足</th> <th>不満足</th> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>8.6</td> <td>32.1</td> <td>40.9</td> <td>13.7</td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>8.1</td> <td>30.9</td> <td>39.4</td> <td>17.7</td> </tr> </table> <p>【今後の方向性】</p> <p>0.6 (%)</p> <p>28.5</p> <p>70.9</p> <p>(3位)</p>				年度	満足	やや満足	やや不満足	不満足	H26	8.6	32.1	40.9	13.7	H25	8.1	30.9	39.4	17.7				
H	事業数	決算額	H	事業数	予算額																																			
H25	15	1,199,853千円	H26	17	261,193千円																																			
年度	満足	やや満足	やや不満足	不満足																																				
H26	8.6	32.1	40.9	13.7																																				
H25	8.1	30.9	39.4	17.7																																				
		施策04																																						
		◆フードバレー構想で県南を活性化 ～県南地域のポテンシャルを生かした産業集積～ 【担当部局: 企画振興部・商工観光労働部・農林水産部・土木部】																																						
		<table border="1"> <tr> <th>H</th> <th>事業数</th> <th>決算額</th> <th>H</th> <th>事業数</th> <th>予算額</th> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>20</td> <td>3,075,519千円</td> <td>H26</td> <td>22</td> <td>4,636,737千円</td> </tr> </table>				H	事業数	決算額	H	事業数	予算額	H25	20	3,075,519千円	H26	22	4,636,737千円	<p>【満足度】</p> <table border="1"> <tr> <th>年度</th> <th>満足</th> <th>やや満足</th> <th>やや不満足</th> <th>不満足</th> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>4.4</td> <td>15.0</td> <td>58.3</td> <td>16.9</td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>3.1</td> <td>11.9</td> <td>60.1</td> <td>18.8</td> </tr> </table> <p>【今後の方向性】</p> <p>2.6 (%)</p> <p>39.9</p> <p>57.5</p> <p>(8位)</p>				年度	満足	やや満足	やや不満足	不満足	H26	4.4	15.0	58.3	16.9	H25	3.1	11.9	60.1	18.8				
H	事業数	決算額	H	事業数	予算額																																			
H25	20	3,075,519千円	H26	22	4,636,737千円																																			
年度	満足	やや満足	やや不満足	不満足																																				
H26	4.4	15.0	58.3	16.9																																				
H25	3.1	11.9	60.1	18.8																																				
		施策05																																						
		◆起業を応援する ～起業化に向けたチャレンジへの支援～ 【担当部局: 商工観光労働部】																																						
		<table border="1"> <tr> <th>H</th> <th>事業数</th> <th>決算額</th> <th>H</th> <th>事業数</th> <th>予算額</th> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>2</td> <td>21,070千円</td> <td>H26</td> <td>2</td> <td>20,167千円</td> </tr> </table>				H	事業数	決算額	H	事業数	予算額	H25	2	21,070千円	H26	2	20,167千円	<p>【満足度】</p> <table border="1"> <tr> <th>年度</th> <th>満足</th> <th>やや満足</th> <th>やや不満足</th> <th>不満足</th> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>4.6</td> <td>13.3</td> <td>57.1</td> <td>18.9</td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>2.9</td> <td>12.6</td> <td>54.4</td> <td>22.4</td> </tr> </table> <p>【今後の方向性】</p> <p>2.0 (%)</p> <p>33.3</p> <p>64.7</p> <p>(7位)</p>				年度	満足	やや満足	やや不満足	不満足	H26	4.6	13.3	57.1	18.9	H25	2.9	12.6	54.4	22.4				
H	事業数	決算額	H	事業数	予算額																																			
H25	2	21,070千円	H26	2	20,167千円																																			
年度	満足	やや満足	やや不満足	不満足																																				
H26	4.6	13.3	57.1	18.9																																				
H25	2.9	12.6	54.4	22.4																																				
		施策06																																						
		◆福祉を成長産業として支援する ～産業としての「福祉」ビジネスへの支援～ 【担当部局: 健康福祉部・商工観光労働部・土木部】																																						
		<table border="1"> <tr> <th>H</th> <th>事業数</th> <th>決算額</th> <th>H</th> <th>事業数</th> <th>予算額</th> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>8</td> <td>839,474千円</td> <td>H26</td> <td>8</td> <td>943,954千円</td> </tr> </table>				H	事業数	決算額	H	事業数	予算額	H25	8	839,474千円	H26	8	943,954千円	<p>【満足度】</p> <table border="1"> <tr> <th>年度</th> <th>満足</th> <th>やや満足</th> <th>やや不満足</th> <th>不満足</th> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>5.9</td> <td>18.6</td> <td>47.4</td> <td>21.6</td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>3.2</td> <td>17.7</td> <td>46.5</td> <td>24.5</td> </tr> </table> <p>【今後の方向性】</p> <p>3.1 (%)</p> <p>29.3</p> <p>67.6</p> <p>(5位)</p>				年度	満足	やや満足	やや不満足	不満足	H26	5.9	18.6	47.4	21.6	H25	3.2	17.7	46.5	24.5				
H	事業数	決算額	H	事業数	予算額																																			
H25	8	839,474千円	H26	8	943,954千円																																			
年度	満足	やや満足	やや不満足	不満足																																				
H26	5.9	18.6	47.4	21.6																																				
H25	3.2	17.7	46.5	24.5																																				
		施策07																																						
		◆観光客を呼び込む ～九州各県や市町村等との連携による観光誘客の推進～ 【担当部局: 知事公室・総務部・商工観光労働部・農林水産部】																																						
		<table border="1"> <tr> <th>H</th> <th>事業数</th> <th>決算額</th> <th>H</th> <th>事業数</th> <th>予算額</th> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>13</td> <td>536,703千円</td> <td>H26</td> <td>13</td> <td>590,521千円</td> </tr> </table>				H	事業数	決算額	H	事業数	予算額	H25	13	536,703千円	H26	13	590,521千円	<p>【満足度】</p> <table border="1"> <tr> <th>年度</th> <th>満足</th> <th>やや満足</th> <th>やや不満足</th> <th>不満足</th> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>10.5</td> <td>31.1</td> <td>27.8</td> <td>23.0</td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>8.5</td> <td>29.5</td> <td>30.5</td> <td>23.8</td> </tr> </table> <p>【今後の方向性】</p> <p>0.4 (%)</p> <p>21.7</p> <p>77.9</p> <p>(1位)</p>				年度	満足	やや満足	やや不満足	不満足	H26	10.5	31.1	27.8	23.0	H25	8.5	29.5	30.5	23.8				
H	事業数	決算額	H	事業数	予算額																																			
H25	13	536,703千円	H26	13	590,521千円																																			
年度	満足	やや満足	やや不満足	不満足																																				
H26	10.5	31.1	27.8	23.0																																				
H25	8.5	29.5	30.5	23.8																																				
		施策08																																						
		◆ストーリー性のある観光戦略を展開 ～熊本ならではの観光戦略の推進～ 【担当部局: 商工観光労働部】																																						
		<table border="1"> <tr> <th>H</th> <th>事業数</th> <th>決算額</th> <th>H</th> <th>事業数</th> <th>予算額</th> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>4</td> <td>108,190千円</td> <td>H26</td> <td>4</td> <td>108,762千円</td> </tr> </table>				H	事業数	決算額	H	事業数	予算額	H25	4	108,190千円	H26	4	108,762千円	<p>【満足度】</p> <table border="1"> <tr> <th>年度</th> <th>満足</th> <th>やや満足</th> <th>やや不満足</th> <th>不満足</th> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>7.9</td> <td>24.9</td> <td>38.7</td> <td>22.3</td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>6.3</td> <td>24.1</td> <td>38.0</td> <td>23.3</td> </tr> </table> <p>【今後の方向性】</p> <p>0.9 (%)</p> <p>24.7</p> <p>74.4</p> <p>(2位)</p>				年度	満足	やや満足	やや不満足	不満足	H26	7.9	24.9	38.7	22.3	H25	6.3	24.1	38.0	23.3				
H	事業数	決算額	H	事業数	予算額																																			
H25	4	108,190千円	H26	4	108,762千円																																			
年度	満足	やや満足	やや不満足	不満足																																				
H26	7.9	24.9	38.7	22.3																																				
H25	6.3	24.1	38.0	23.3																																				

**[戦略1] ビッグチャンスを生かす**

No.	(5)平成25年度の主な成果	(6)平成26年度の推進方針・推進状況	(7)問題点(隘路)・課題	(8)今後の具体的な方向性
施策01	<ul style="list-style-type: none"> <li>専門家チームの複数の視点から、約50社の中小企業が抱える経営課題の抽出及び継続的な指導・支援を行い、経営基盤の強化等に貢献</li> <li>金融と経営支援を一体かつ継続的に行うチャレンジサポート融資制度を創設・運営し、中小企業の経営力強化を推進(47件・555百万円)</li> <li>リーディング育成企業に対し、産学官金のサポートチームによる総合的な支援を実施するとともに、新たに9社を認定</li> <li>市町村及び民間企業に対し、県内中小企業への発注機会の増大に関する協力を依頼</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li><u>経営・営業面など県内中小企業に共通した課題が出てきており、その課題を解決する指導・支援を重点的に実施</u></li> <li><u>成長支援に軸足を置き、セミナーの実施や融資制度の拡充等により創業・事業承継や経営革新に取り組む中小企業を支援</u></li> <li><u>リーディング企業の創出に向けて、よりリーディング企業に近いリーディング育成企業に支援を集中</u></li> <li>市町村及び民間企業における条例の趣旨の理解と取組拡大をより進めるため、各種媒体による啓発活動を継続</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>リーディング企業の創出に向けて、新たな事業展開等に積極的に挑戦する企業の掘り起こしが必要</li> <li>関係機関相互の連携を促進するとともに、制度融資等の支援策の周知徹底が必要</li> <li>リーディング企業を創出するため、付加価値額の増加につながる取組の充実・加速化が必要</li> <li>条例に対する民間企業の認知度が低いため、一層の周知が必要</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>専門家チームの指導・支援により、将来のリーディング企業につながる支援を強化</li> <li>金融と経営の一体的・継続的な支援を要件とする融資制度の利用や企業の創業・事業承継及び経営革新の取組に対して支援を推進</li> <li>リーディング育成企業の売上増につながる取組に対する支援を強化</li> <li>商工団体等の協力を得た民間企業への周知活動を実施</li> </ul>
施策02	<ul style="list-style-type: none"> <li>知事トップセミナーや企業誘致可能性調査等による新規企業誘致、本県に立地する既立地企業の拠点性向上に向けた誘致活動を実施した結果、企業誘致件数が37件(うち研究開発部門が6件)、新規雇用予定者数が802人となり、本県の拠点性が向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ターゲットを絞った効率的な新規企業誘致と既立地企業のフォローアップによる拠点性強化のための誘致活動の継続</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>国内市場が縮小する中、海外進出や国内拠点の再編・集約が加速しているため、企業誘致にとっては厳しい状況</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>企業の新規投資先として「選ばれる熊本」をめざし、戦略的かつ積極的な企業誘致を展開</li> </ul>
施策03	<ul style="list-style-type: none"> <li>四輪、二輪、カートそれぞれの次世代パーソナルモビリティに関する実証実験を推進</li> <li>急速充電器1カ所、普通充電器1カ所を新設し、県設置の充電器が急速：計9カ所、普通：計54箇所に増加</li> <li>自動車メーカー、水素供給事業者、関係県等との情報交換を実施し、燃料電池自動車・水素ステーションの県内普及の課題を整理</li> <li>県内企業による次世代耐熱マグネシウム合金の事業化に向けた3件の試作品開発や、実用化の技術的課題に取り組む企業(1件)を支援</li> <li>有機薄膜に関し、国等の補助金の活用による研究開発力の強化、県補助金の活用による実用化に向けた企業の試作品開発(2件)が進展</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>超小型モビリティの実証実験を推進し、観光地での利用や事業用車両としての利用等に取り組む</li> <li><u>急速充電器5箇所、普通充電器26箇所を設置するとともに、整備済充電器の維持・管理に取り組む</u></li> <li>燃料電池自動車の普及促進計画を策定するとともに、燃料電池自動車に関する普及啓発事業を実施</li> <li>事業化案件創出に向けた取組を支援する。特に、県内企業連携による開発の取組について、重点的に支援</li> <li>ビジネス創出に向けた協議会活動を活性化させるとともに、国県等の補助金を活用し、開発・実用化を推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>来年度が事業の最終年度であることを踏まえ、実証実験の成果に結びつく取組が必要</li> <li>充電器の故障等に対する迅速な対応が必要</li> <li>燃料電池自動車及び水素ステーションの普及促進のためには、北部九州との連携が必要</li> <li>企業単独での取組はリスクが高いため、大学や公設試、加工技術企業との継続的な開発が不可欠</li> <li>地域企業の参入を支援するため、産産・産学のマッチングや技術移転の支援が必要</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>超小型モビリティに関する各種実証実験を推進</li> <li>充電ネットワークの整備・維持管理を実施</li> <li>燃料電池自動車の初期需要創出及び水素ステーション整備の着実な進展</li> <li>実用化に向けた県内企業による新事業展開、人材育成及び実証を行うための取組を支援</li> <li>国県等の補助金の活用や、協議会活動の強化により、早期の市場化を支援</li> </ul>
施策04	<ul style="list-style-type: none"> <li>県南地域の市町村、事業者、関係団体等とともに「くまもと県南フードハレー推進協議会」を設立し、500超の事業者等が入会</li> <li>食品関連企業(パッケージアイス製造業)を1件誘致。農業分野では企業等の新規参入が前年度の5件から7件に増加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li><u>協議会の会員事業者訪問など、会員との接触の機会を増やし、地域における取組やニーズを把握</u></li> <li>県内立地の県外資本企業の調査・訪問や、企業の農業参入促進に向けた情報提供、加工施設整備への支援等の継続</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業者の主体的な動きが少ないため、県や市町村、協議会の事業等の活用を促進する取組が必要</li> <li>企業等に対する県南地域での立地の利点のPRや、農業参入企業に対する営農安定化等の支援が必要</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業者の主体的な動きにつなげるため、構想の取組や成果を広く発信</li> <li>調査データに基づく企業訪問の強化や、相談窓口の充実、研修会開催等による継続支援</li> </ul>
施策05	<ul style="list-style-type: none"> <li>起業化に向けたチャレンジを強気に後押しするため、(一財)県起業化支援センターの投資上限額を1,000万円から2,000万円に増額</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>関係機関と連携し、引き続き創業予定者やベンチャー企業等に対する資金調達支援、相談・助言を実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>創業やベンチャー企業は、多種多様な課題・問題があるため、個々の成長段階に応じたきめ細かな支援が必要</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>個々の成長段階に応じたきめ細かな支援を実施</li> </ul>
施策06	<ul style="list-style-type: none"> <li>現任介護職員等研修事業や「働きながら資格をとる」介護雇用プログラムを活用し、延べ37法人が71人の介護職員を雇用</li> <li>給与等の増額を図る保育所への補助を行う市町村に対する助成制度を設け、440の保育所で実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li><u>新たな介護職員等研修支援事業の活用等により、介護人材の確保を推進</u></li> <li>保育士の処遇改善を図るため、給与等の増額を図る保育所への助成制度を継続して実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>介護職のイメージ向上や処遇・勤務環境の改善に向けた継続的取組が必要</li> <li>保育士の処遇改善のための事業が継続して実施できるよう安定した財源が必要</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>介護職のイメージアップのための広報啓発や処遇改善に向けた事業所等への指導の実施</li> <li>安定した財源を国に要望し、保育士の処遇改善と人材の確保を推進</li> </ul>
施策07	<ul style="list-style-type: none"> <li>JR九州・西日本、長崎・大分・宮崎・鹿児島県とのタイアップによる「リメンバー九州」キャンペーンを展開</li> <li>スポーツイベント7件(約18,000人の宿泊)、大型コンサート2件(約18,000人の集客)、映画ロケ1件を誘致</li> <li>各地域の宝を旅行商品化するためのノウハウを旅行会社から学ぶ「くまもと観光リーダーズ研修」を実施し、延べ61人が参加</li> <li>「地域ブランド調査2013」(ブランド総合研究所)における本県の情報接触度ランキングが22位から14位に上昇</li> <li>くまモンは、17社の利用許諾件数累計16,000件超、H25.1~12月の利用商品の売上高449億円超、ツイッターフォロワー数30万人超を達成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>観光列車王国九州を売りにした誘客促進のため、JR九州や九州各県等と連携し、観光キャンペーン等を展開</li> <li>助成事業を最大限活用し、本県へのスポーツイベント、大型コンサート、映像作品制作の誘致を強化</li> <li>旅行商品を造成できる人材を増やすため、引き続き、民間の専門家を講師に迎えた研修会を開催</li> <li><u>“赤”の統一ブランドイメージの定着推進事業等、くまモンを活用した事業を実施</u></li> <li><u>くまモンのブランド価値の向上、熊本との関連性強化、持続可能な仕組みづくりへの取組</u></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>JR九州・西日本、九州各県の理解と協力、連携が必要</li> <li>誘致にあたり、充実度、交通アクセスに勝る隣県の施設との競合や誘致効果の県下全域への波及が課題</li> <li>「くまもと観光リーダーズ研修」の研修成果を旅行商品化へつなげる必要がある</li> <li>くまモンのブランドイメージを崩さないよう関係課が連携して取り組んでいく必要あり</li> <li>くまモン人気の維持向上、著作権・商標の適正管理、国内外での効果的な情報発信が課題</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、九州各県や交通事業者と連携した観光キャンペーンを展開</li> <li>在九州の大手音楽プロモーターに対する制度のPR実施及び市町村との連携の推進</li> <li>観光地づくりの中心となる観光(地域)リーダーを県内各地に養成</li> <li>首都圏での認知度・好感度向上をめざし、媒体購入、パブリシティ活用による広報を強化</li> <li>くまモンをフックとしたくまもとPR、県産品販路拡大等を推進</li> </ul>
施策08	<ul style="list-style-type: none"> <li>阿蘇山上までの送迎付きのレンタサイクル「阿蘇サイクルーシング(サイクリング)」を民間事業者等と連携して推進</li> <li>各地の歴史・文化等を活用したバスツアー「熊本再発見の旅」を催行し、341人が参加</li> <li>細川幽斎の生誕の地である京都府舞鶴市と連携し、細川文化を学ぶ修学旅行(H27年度分、舞鶴市中学校5校)を誘致</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>阿蘇の自然を体感できる「ホーストレッキング(乗馬)」、「阿蘇サイクルーシング」の推進を継続</li> <li>各地の歴史・文化等を活用したバスツアー「熊本再発見の旅」等の歴史・文化ツアーを継続</li> <li>京都府の長岡京市他6市1町で構成される「NHK大河ドラマ誘致推進協議会」と連携し、大河ドラマを誘致</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>レンタサイクルの利用者数等を増加させるためには、その魅力のさらなる周知が必要</li> <li>歴史・文化遺産を改めて見直し、磨き上げを行うとともに観光ボランティアガイドの養成等受皿作りが必要</li> <li>大河ドラマは固定ファンが多いため、多くの他の自治体と競合</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>阿蘇の自然を体感できる体験メニューを開発し、利用者を増大させるための周知を推進</li> <li>各地の歴史・文化等のバスツアー「熊本再発見の旅」を催行し観光キャンペーンを展開</li> <li>引き続き「NHK大河ドラマ誘致推進協議会」との連携により大河ドラマ誘致推進</li> </ul>